

桜井夏来プロフィール

1974年 吉祥寺南町生まれ
家族の海外赴任で子ども
時代をフィジー・ペルー・
マレーシアで過ごす



フィジーにて近所の
子どもたちと

1986年 市立第三小学校卒業

1989年 市立第三中学校卒業

1993年 私立桐朋高校卒業

1997年 私立沖縄大学中退
ソフトウェア会社に勤務



川田悦子衆議院議員と
事務所の前で

2001年 薬害エイズと闘った川田
悦子さんが衆議院議員と
なり、公設秘書を務める

2007年 武蔵野市市民協働サロン勤務

2021年 市長選挙にあわせて実施
された武蔵野市議会議員
補欠選挙に当選

2022年 山本ひとみ議員と会派
「小さな声を活かす会」
を結成



平和を求めて駅頭で
アピール活動

現在 建設委員会、外環道路特別
委員会、議会広報委員会に所属

家族 妻と子ども3人(大学2年、
高校3年、中学3年)、猫2匹



3人の子どもたちと
(撮影者：妻)

趣味 子どもたちと遊ぶこと、
料理、映画鑑賞

特技 デザイン、イラストの作成

桜井夏来さんを応援します



武蔵野市長
松下玲子

感染症の拡大や物価の高騰など、困難な課題が山積する中で、市民の命と暮らしを守るためには、市長と議会が真剣

な議論を通じて知恵を出し合うことが必要です。理知的で建設的な議論のできる桜井夏来さんは、今の市議会に欠かすことのできない存在だと感じています。誰もが安心して暮らし続けられるまちの実現へ、ともに取り組む桜井夏来さんに強く期待します。



社会民主党党首
福島みずほ

武蔵野市の住民投票条例制定の動きに際して加えられた、外国籍市民へのいわれなき攻撃は、近隣諸国への偏見や敵

意を煽って軍事大国化を進めようとする政府の動きとも一致しています。対立ではなく対話へ、いま政治の流れを変えなければ取り返しのつかないこととなります。命と平和、人権を守るために、武蔵野から全力で取り組む桜井夏来さんを応援しています。

武蔵野市議会議員 **桜井夏来 Report** 号外

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町3-7-7

0422-90-7349 090-6744-9572

mail@sakurai-natsuki.jp

https://sakurai-natsuki.jp @sakurai_0422



桜井夏来 Report

いのち・平和・人権を
守るまちへ!



【無所属】武蔵野市議会議員

さくらいなつき
桜井夏来



号外
2023年3月



ひとを大切にすまち、武蔵野を目指して

武蔵野市内の子ども食堂では、コロナ前に比べ、子どもたちだけでなく大人の利用も伸びています。用意したお弁当はあっという間になくなり、必要な食数は回を重ねるごとに増加しています。今、市内に困窮し、疲弊する人たちが増えているのです。

その一方で、こうした状況に胸を痛め、お米や野菜などの食材を提供したいと名乗り出て下さる方も確実に増えています。公共としての市に人々の生活を支える役割が求められるのは当然ですが、その根底として「困っている人がいたらみんなで支えよう」という私たち一人一人の気持ちが欠かせないことを痛感させられる出来事です。

残念ながら昨今の社会を見ると、意見の違いを大きな声でなじり、些細なことでも騒ぎ立てるような「不寛容さ」が目につきます。こうした刺々しい態度は、高齢者や子ども、女性、外国籍市民といった弱い立場にある人々に向けられることが少なくありません。一昨年の「住民投票条例」制定を巡る騒動や、直近における「子どもの権利条例」の策定においても、当事者に寄り添ったり、多様性を認めようとしないう、硬直的な言説が飛び交いました。本来であればそうした声を諫めて、建設的な対話を促すべき「政治」が、むしろ火に油を注ぐような役割を果たしたことは、恥ずかしく悲しい出来事だったと感じています。

私は、武蔵野を不寛容で排他的な町にたくありません。弱い立場にある人、困っている人にしっかりと寄り添い、その人たちの権利を守るまち。みんなで支え合い、助け合っていく、人を大切にするまち。行政がしっかりとそれを支え、安心感と信頼を持って暮らしていくことができるまち。そんな武蔵野のまちを、私は市議会議員として創っていきたいと思います。

武蔵野市議会議員
桜井 夏来

POLICY 1

子どもたちの育つ権利を保障するまち

- 小中学校の給食費無償化へ
- 児童館機能を持つ子どもたちの居場所整備
- 園庭のない保育園に人員を加配

POLICY 2

誰もが安心して住み続けられるまち

- ケア従事者への財政的支援
- 認知症対応のグループホーム整備
- 緊急経済対策としての水道料金減免

POLICY 3

持続可能で災害に強いまち

- 再生可能エネルギー支援で脱炭素・脱原発
- 水道水を有機フッ素化合物汚染から守る
- 災害時の地域支え合い体制を確立

POLICY 4

平和と人権を大切にするまち

- 多様な参画を認める住民投票条例の制定
- 子どもたちに国際交流による平和学習を
- ジェンダーの視点から市の政策を総点検

POLICY 5

魅力と活力のある暮らしやすいまち

- 武蔵野の道を歩いて楽しい広場に
- 公園にトイレを、道にベンチを増やす
- 境・吉祥寺から市役所へのアクセス改善

